岐 阜 地 方 気 象 台
令 和 ６ 年 ９ 月 ２ ６ 日

岐阜県とその周辺の地震活動

（令和６年８月１日～８月 31 日）

【概況】

今期間、岐阜県内で震度１以上を観測した地震は４回でした。

① ３日 21 時 01 分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ8km、M2.7）により、高山市で震度1を観測したほか、長野県で震度1を観測しました。

② ９日 19 時 57 分 神奈川県西部の地震（深さ 13km、M5.3、震央分布図範囲外）により、高山市、下呂市、多治見市、中津川市、恵那市、土岐市、羽島市、岐南町、瑞穂市で震度1を観測しました。また、神奈川県で震度5弱を観測したほか、関東、東海、甲信越、近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。
この地震は、発震機構が南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生しました。

③ 26 日 13 時 20 分 岐阜県美濃中西部の地震（深さ8km、M2.0）により、岐阜市で震度1を観測しました。

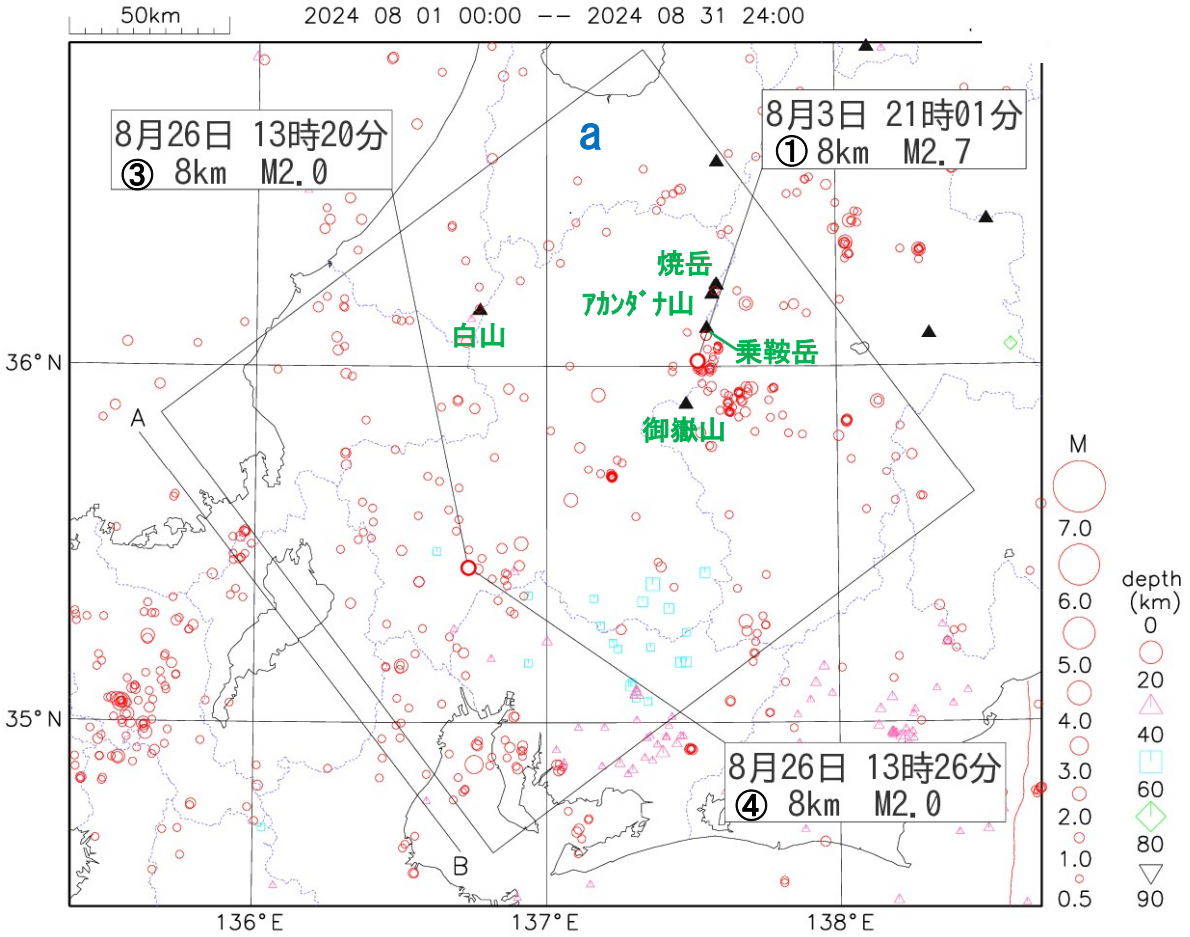
④ 26 日 13 時 26 分 岐阜県美濃中西部の地震（深さ8km、M2.0）により、岐阜市で震度1を観測しました。

【各地の震度】

第１表　岐阜県内で震度１以上を観測した地震と各地の震度

	月　日　時　分	震央地域名	北緯	東経	深さ	ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
①	08月03日21時01分	岐阜県飛騨地方	36° 00.8’	137° 31.2’	8km	M2.7
	震度　1 ： 高山市高根町＊					
②	08月09日19時57分	神奈川県西部	35° 24.6’	139° 09.6’	13km	M5.3
	震度　1 ： 高山市国府町＊, 高山市久々野町＊, 下呂市森, 下呂市下呂小学校＊, 下呂市萩原町＊, 多治見市笠原町＊, 中津川市かやの木町, 中津川市本町＊, 中津川市加子母＊, 中津川市付知町＊, 恵那市山岡町＊, 土岐市泉町＊, 羽島市竹鼻町＊, 岐南町八剣＊, 瑞穂市別府＊					
③	08月26日13時20分	岐阜県美濃中西部	35° 25.9’	136° 43.9’	8km	M2.0
	震度　1 ： 岐阜市京町＊					
④	08月26日13時26分	岐阜県美濃中西部	35° 25.9’	136° 43.9’	8km	M2.0
	震度　1 ： 岐阜市京町＊					

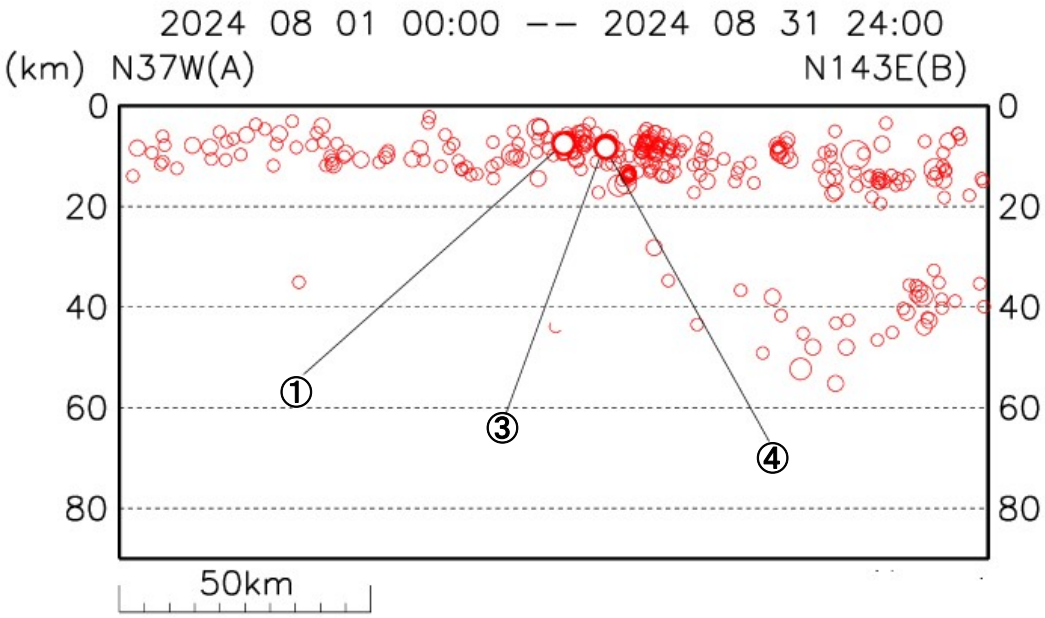
＊印がついている観測点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。



第１図　令和６年８月の岐阜県と周辺地域の震央分布図

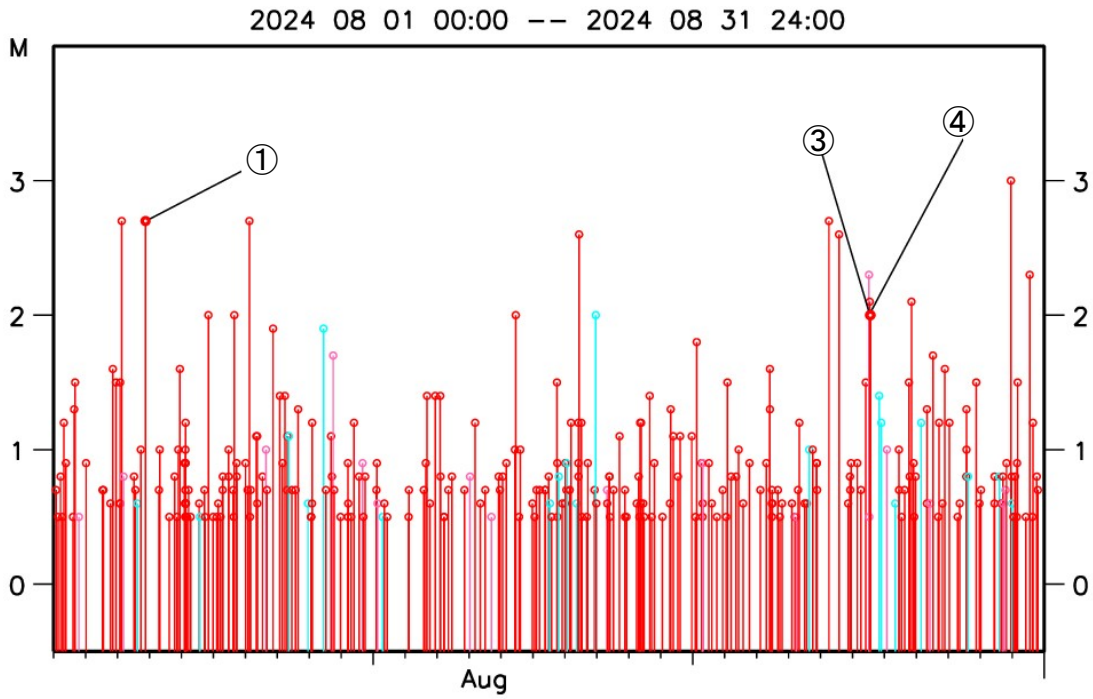
期間：令和６年８月１日～８月 31 日（深さ 90km まで，Ｍ：0.5 以上）

※図中の　▲ は活火山を示します。



第２図　令和６年８月の第１図領域ａ内Ａ－Ｂ断面図

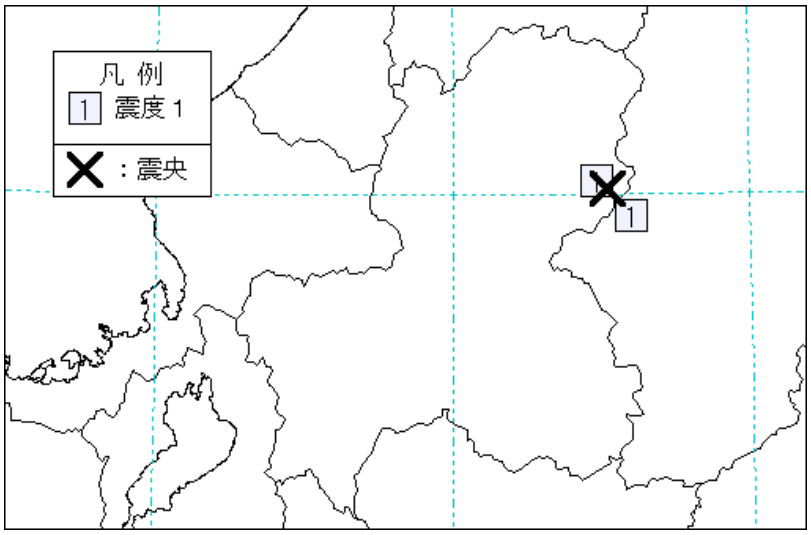
（期間：令和６年８月１日～８月 31 日）



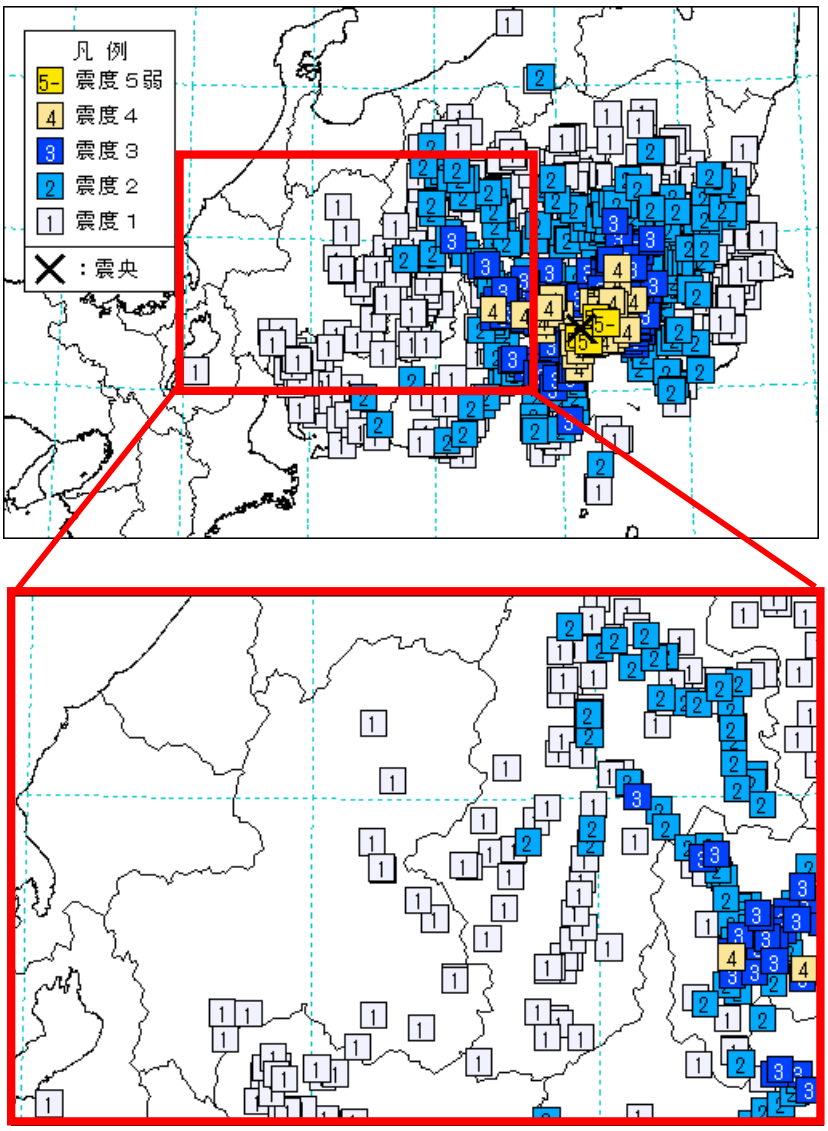
第３図　令和６年８月の地震活動経過図　（第１図領域ａ内）
（期間：令和６年８月１日～８月 31 日）

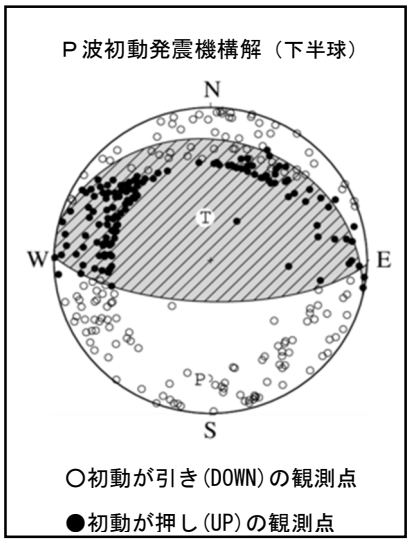
【震度１以上を観測した主な地震の震度分布図】（×は震央）

① 03 日 21 時 01 分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ８km、M2.7）の震度分布図

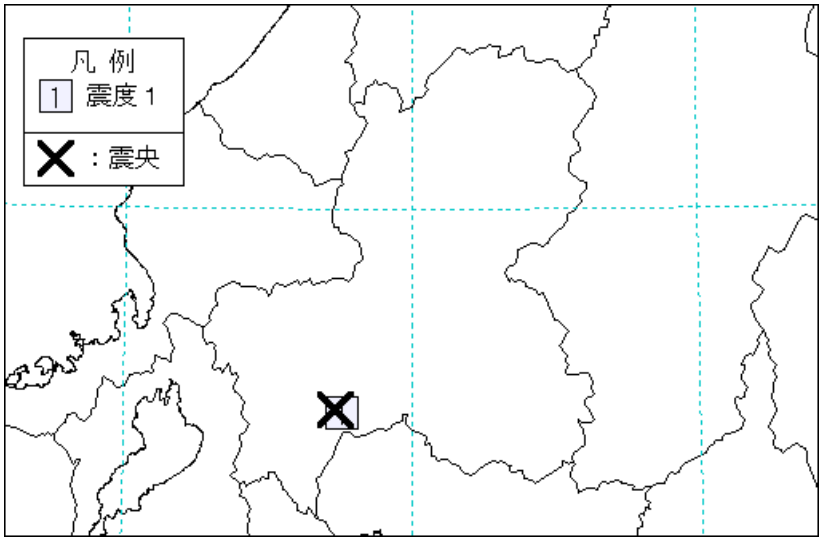


② 09 日 19 時 57 分 神奈川県西部の地震（深さ 13km、M5.3）の震度分布図等

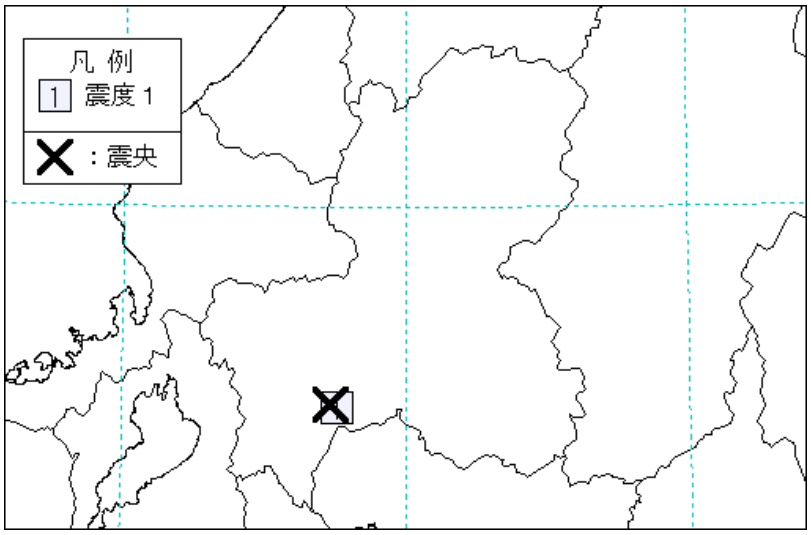


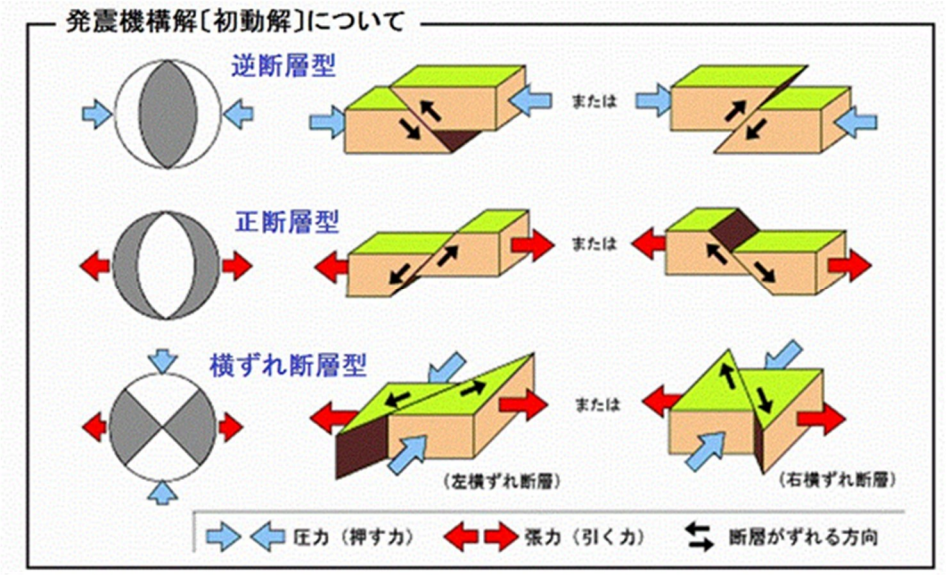


③ 26 日 13 時 20 分 岐阜県美濃中西部の地震（深さ８km、M2.0）の震度分布図



④ 26 日 13 時 26 分 岐阜県美濃中西部の地震（深さ８km、M2.0）の震度分布図





【最近１年間の月別・震度別地震回数】

第２表　岐阜県内で震度１以上を観測した地震の月別・震度別回数表（令和６年８月 31 日まで）

震度	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	合計
1	6	4	3	2	62	11	5	5	7	3	1	4	113
2	1	3	0	1	18	1	0	2	0	4	1	0	31
3	0	1	1	0	7	0	0	1	0	0	0	0	10
4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5弱	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	8	4	3	88	12	6	8	7	7	2	4	156

※過去１年間に、岐阜県内で震度３以上を観測した地震は以下のとおりです。
・
・令和５年 10 月８日:岐阜県飛騨地方で M3.4 の地震が発生し、高山市で震度３を観測しました。
・令和５年 11 月８日:岐阜県飛騨地方で M3.3 の地震が発生し、高山市で震度３を観測しました。
・令和６年１月１日 :石川県能登地方で M7.6 の地震が発生し、高山市、飛騨市で震度５弱を観測しました。
・令和６年１月１日 :能登半島沖で M4.0 の地震が発生し、高山市で震度３を観測しました。
・令和６年１月１日 :石川県能登地方で M6.1 の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市、下呂市で震度３を観測しました。
・令和６年１月１日 :石川県能登地方で M5.8 の地震が発生し、白川村、飛騨市で震度３を観測しました。
・令和６年１月１日 :能登半島沖で M5.8 の地震が発生し、高山市で震度３を観測しました。
・令和６年１月２日 :石川県能登地方で M5.6 の地震が発生し、白川村で震度３を観測しました。
・令和６年１月３日 :石川県能登地方で M5.6 の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市で震度３を観測しました。
・令和６年１月６日 :石川県能登地方で M5.4 の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市で震度３を観測しました。
・令和６年３月 23 日:岐阜県美濃中西部で M4.6 の地震が発生し、揖斐川町で震度４を観測しました。
・令和６年４月 30 日:岐阜県飛騨地方で M3.6 の地震が発生し、高山市で震度３を観測しました。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
・本資料は速報のため、後日の調査により更新されることがあります。
・2020年９月以降に発生した地震を含む図については、2020年８月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。
・この資料の問い合わせ先　　岐阜地方気象台 防災担当　　電話：058－271－4108（平日 8:30～17:15）
・この地震概況は、岐阜地方気象台ホームページの「岐阜県の地震概況」に、過去の資料とあわせて掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/gifu/shosai/jishin/gaikyo/jishin_gaikyo.html
※南海トラフ地震に関連する情報について
https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html

令和６年８月８日　日向灘の地震

（南海トラフ地震臨時情報発表）

〈ひとロメモ〉

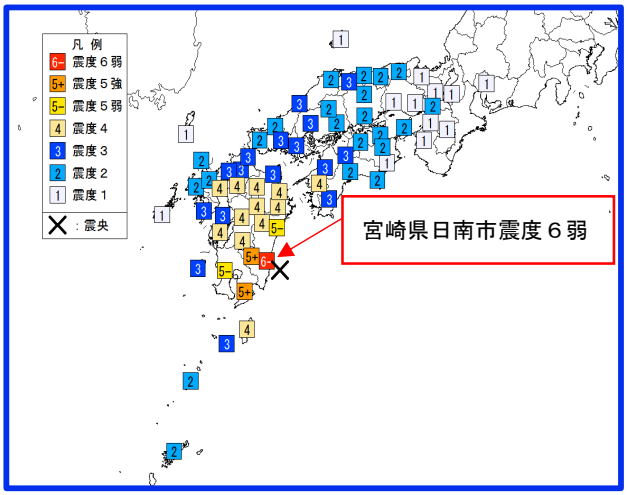
＜概要＞

８月８日16時42分にM7.1の地震が発生し、宮崎県日南市で震度６弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度５強～１を観測しました。

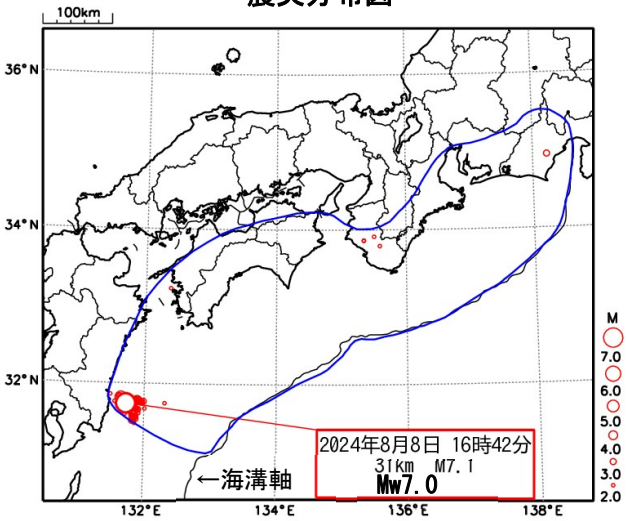
この地震は、南海トラフ地震の想定震源域で発生したM6.8以上の地震であることから、「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」を発表。南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会にて検討の結果、「南海トラフ沿いの大規模地震の可能性が平常時に比べて相対的に高まったと考えられる。」と評価され、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。

南海トラフ地震臨時情報が発表されたのは、令和元年（2019年）５月31日に同情報が運用開始されて以降初めてで、政府よる特別な注意の呼びかけを開始しました（一週間程度）。

震度分布図



震央分布図



青線：南海トラフ巨大地震の想定震源域

＜南海トラフ地震臨時情報発表に伴う対応について＞

８月８日

16：42　日向灘の地震発生（深さ 31km、M7.1 暫定値）
宮崎県日南市で６弱を観測。**岐阜県では震度１以上の観測なし。**

17：00　**「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」**を発表。
南海トラフ地震との関連性について調査を開始。

17：30　南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を開催。
その結果、**南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生の可能性が平常時に比べて相対的に高まったと考えられる。**」と評価。

17：45　気象庁記者会見

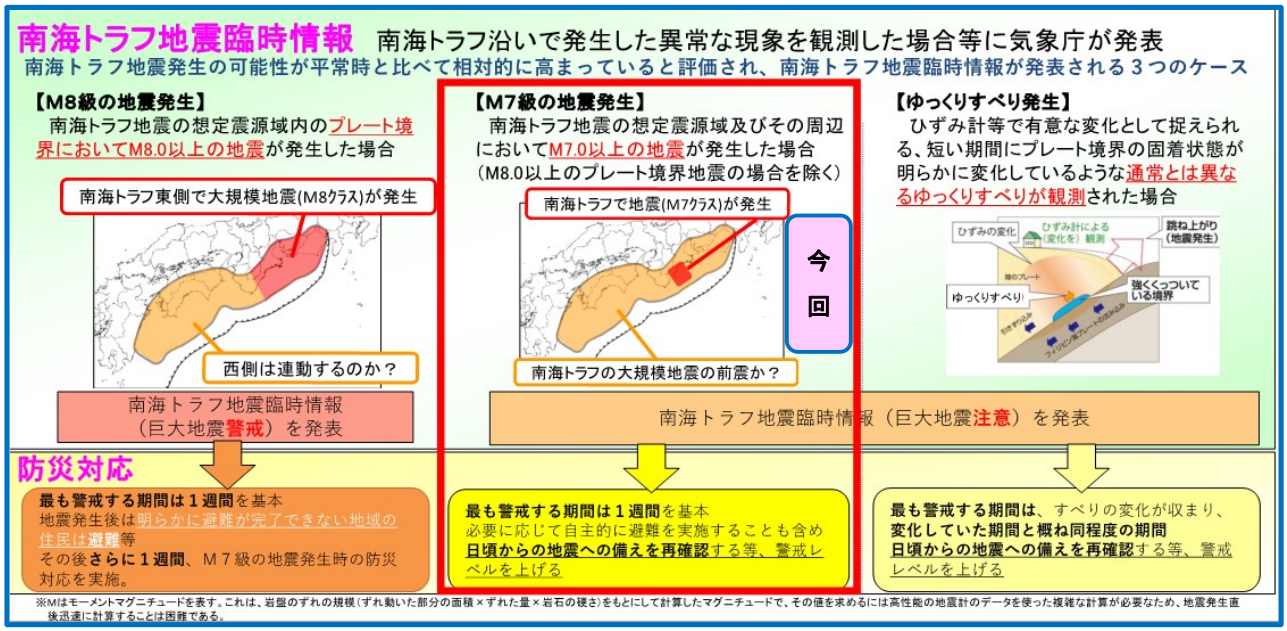
19：15　**「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」**を発表。

８月 15 日

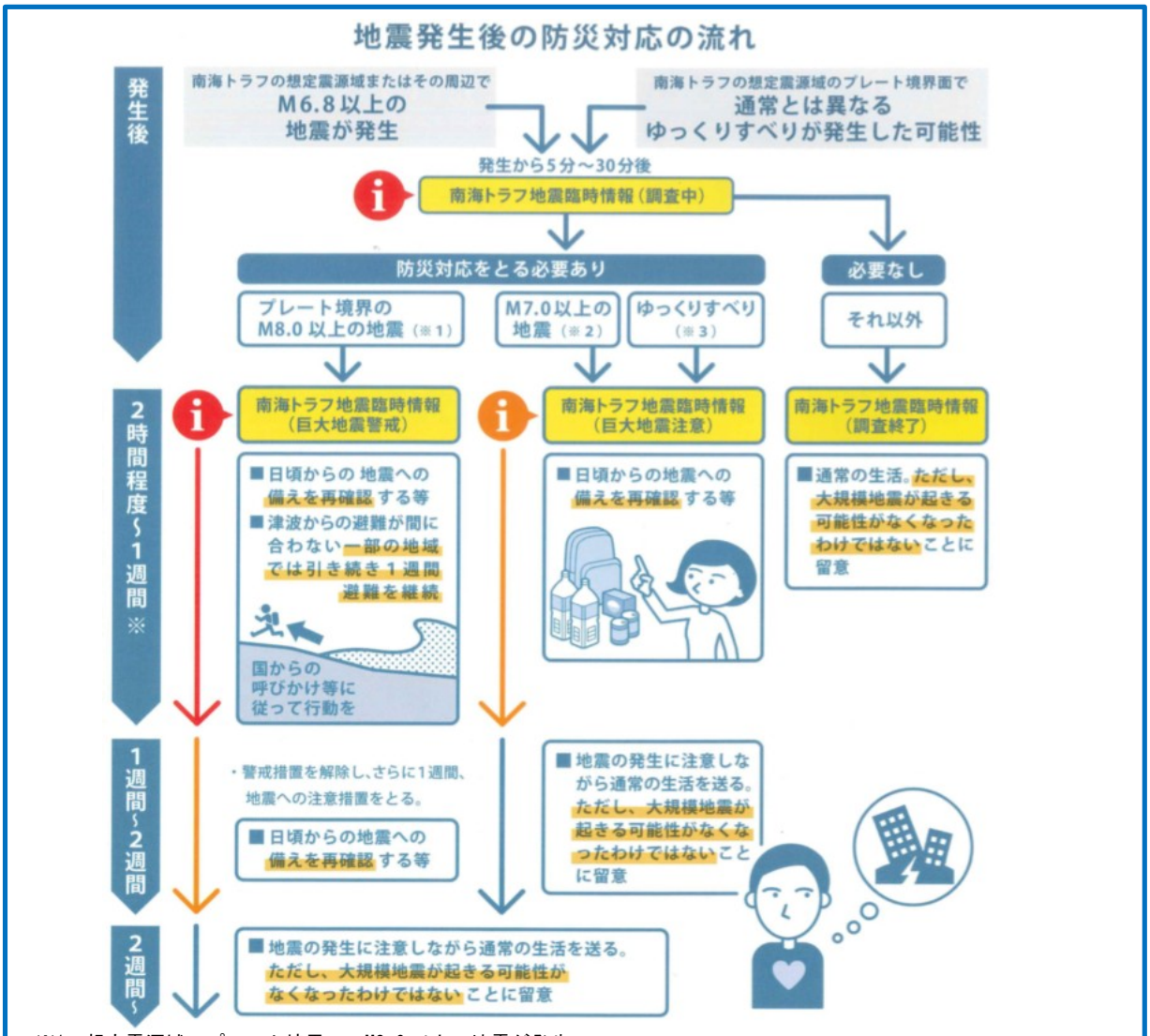
17：00　「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表に伴う**政府としての特別な注意の呼びかけは終了**。

18：00　内閣府、気象庁合同記者会見

＜南海トラフ地震臨時情報が発表される３つのケース＞



＜地震発生後の防災対応の流れ＞



※1　想定震源域のプレート境界で、M8.0 以上の地震が発生。
※2　想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）
※3　住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など。

＜日頃からの地震の備えとは＞

■ 情報が発表された際に、慌てず防災行動を実施するには、日頃からの地震への備えが大切。
下記のような備えは日頃から行い、情報が発表された際に再確認することが重要。

迅速な避難体制・準備

- ✓ 地域のハザードマップでどのような危険があるかを確認する
- ✓ 安全な避難場所・避難経路等を確認する
- ✓ 家族との連絡手段を決めておく
- ✓ 非常持出品を準備しておく
  - ・食料、水、常備薬
  - ・懐中電灯、携帯ラジオ
  - ・身分証明書、貴重品　等

出火や延焼の防止対策

- ✓ 火災警報器の電池切れがないことを確認する
- ✓ 漏電遮断機や感震ブレーカー等を設置する

室内の対策

- ✓ 窓ガラスの飛散防止対策をする
- ✓ タンス類・本棚の転倒防止対策をする
- ✓ ベッド頭上に物を置かない

地震発生後の避難生活の備え

- ✓ 水や食料の備蓄を多めに確保する
- ✓ 簡易トイレを用意する
- ✓ 携帯ラジオや携帯電話の予備バッテリー等を準備する

令和６年８月15日　内閣府（防災担当）、気象庁報道発表資料より

＜気象台からのお願い＞

令和６年８月15日17時00分をもって、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表に伴う政府としての特別な呼びかけは終了しましたが、大規模地震の発生の可能性がなくなったわけではありません。引き続き、日頃からの地震の備えをお願いします。